

医療職向け研修

がん・慢性疾患の終末期 に起こってくる浮腫

-病棟・在宅での対応について-



満席になりましたのでお申し込みを締切しました

日程：2018年11月10日(土)

時間：10:30～16:30

受講料：6000円

会場：がん研有明病院 吉田富三記念講堂

プログラム（予定）：

◆10:30～12:00 終末期の浮腫の理解

浮腫の診断/浮腫の解剖と生理

講師:保田知生先生 がん研有明病院医療安全副部長

終末期の浮腫

講師:宇津木久仁子先生 がん研究会有明病院婦人科副部長

◆13:00～14:00 施設(病棟・外来)ケアでの浮腫へのアプローチ

講師:田端 聡・松尾千穂 先生

がん研究会有明病院リンパケアチーム

◆14:00～15:00 在宅ケアでの浮腫へのアプローチ

講師:熊谷靖代先生 野村訪問看護ステーション

◆15:15～16:30 施設から在宅へのケアの連携

対象:がん医療にかかわる医療職者 定員 150名

会場:がん研有明病院 吉田富三記念講堂

<http://www.jfcr.or.jp/access/>

最寄駅:有明駅徒歩 2分/国際展示場駅 徒歩 4分

主催:一般財団法人 ライフ・プランニング・センター

終末期にある患者さんにとってむくみは苦痛症状の上位を占め、その対応は残された時間のQOLの維持においても重要な問題となります。今回は、複雑な要因により起こってくる終末期の浮腫の仕組みを理解し、それぞれの病態とステージにあった的確な浮腫ケアの方法について考えます。また、施設と在宅で異なるアプローチの仕方についても最前線で活動する講師より学びたいと思います。

※7月17日(火) 正午から

先着順で受け付けます

定員になり次第しめきります